



日本のチカラと“食”に想う事

株式会社スムーズリンク 加藤 久明

世界は広いのか、いや狭いと思うのか、私達がいる環境によってそれぞれ感があるように、知ってこそ知れない事もある。今回は「食」にスポットを当て、余り知られていない事を日本のこれからを考える材料として紹介しよう。

その前に、日本の「食」チカラにとって現在の日本を取り巻く状況は理想的なものからかなり距離を置いてるのではないかと痛感するのだが、食料自給率の観点から、T P Pの観点から等々、角を変えようと一概に結論を下すのが難しいような状況である。高齢化社会への対応や東日本大震災の影響などベクトルを変えるような要素が余りにも多すぎる。ごく普通に暮らしていれば、広いも狭いも深刻な問題ではないと多くのヒトが思うの

は無理からぬ事であらう。一方で日本の「食」は外国の多くの人達にとって健康的で芸術性の高い素晴らしいものであるという評価が高い。また彼らは、日本人は日常そのような素晴らしい食事をしていると思っていられない。そのわりにはマクドを食すすぎだ、鯨をいじめるな、のような批判を受けるのも日本。実に不思議な国である。多くの日本人にとって食事といえは家庭の味であるというのが異論がないと思うが、食材の調達に關しても殆ど苦勞する事なく買ひ物が出来るのも日本が恵まれている点ではないだろうか。1993年に起きた深刻な米不足に、当時の政府は外米？特にタイ米？を緊急輸入する事で対処しようとしたが、結果的に功を奏さなかった事を記憶の方も多いと思う。一番の抵抗感、普

統計を調べてみると、ポーランドなどの中央ヨーロッパやロシアを含めても統計上、地理圏の分類は中東欧・ロシア等となっているが、金額ベースで全体の僅か0.7%、数量では0.1%であった。左上表。270億円程度にしかならない。まして一国ベースで見れば、限りなくゼロに近い。左の表にはブルガリアとウクライナで収穫される農産物が世界の何位に位置づけているかを示している。かなりのものではないだろうか？日本ではバラやヨーグルトで有名なブルガリアは、自然に恵まれ、9つもの世界遺産を有する緑豊かな国で、首都ソフィアは7000年の歴史がある。バルカン山脈と黒海により大陸性気候と地中海性気候が存在する国でもあり豊富なハーブ類が育てられている。気質は遠慮深く控えめである



と云われ、日本人と良く似ているそうだ。ヨーロッパでは最古のワイン醸造の歴史がある事は殆ど知られていない。また同国ではオ・ガニツ作物栽培の耕地面積が2008年以来、10倍にも増え、さらに増加中との事。一方、広大な黒土を擁するウクライナは1986年、旧ソ連の構成国としてチェルノブイリの原発事故を経験、独立翌年の1992年に農作物の輸出額は7億ドルであった

2010年度 産物別世界ランク

順位	農産物	順位	農産物
5	アニス、フェネル	1	ひまわり種子
6	ひまわり種子	2	に果糖
9	クランベリー	3	大麦
13	菜種	3	スグリ
13	ラズベリー	3	サワーチェリー
14	からし種子	4	からし種子
17	アスパラガス	4	天然ハチミツ
19	大麦	4	グースベリー
19	チェリー	5	ラズベリー
20	キウイフルーツ	5	オート麦
20	ブルーベリー	5	クルミ
20	タバコ	6	人参、黒
22	菜	6	きゅうり、ピクルス
23	サワーチェリー	7	クランベリー
23	蜜餞	7	チヨリ根
25	小麦	7	サトウ大根
25	オート麦	7	ジャガイモ
26	油種種子	7	ライ麦
26	ホップ	7	そば
29	ライ麦	7	チェリー
29	天然ハチミツ	8	乾燥豆
30	ヘーゼルナッツ	8	核果
30	トルモロコシ	9	菜種
30	唐辛子	10	ニンニク
33	スパイス	10	キャベツ類
34	プラム類	11	マルメロ
34	オニオン	11	トウモロコシ
35	ブドウ	11	大豆
37	アブリコット	13	アブリコット
37	ヒヨコマメ	13	プラム類
38	アーモンド	13	りんご
38	桃	13	小麦
39	豆類	14	ホップ
39	マルメロ	14	トマト
41	きのこ類	14	イチゴ
42	きゅうり、ピクルス	15	ブルーベリー
		16	アニス、フェネル
		18	玉ねぎ類
		19	キビ
		19	なす
		19	スイカ

国際連合食糧農業機関 調べ



概況品別輸入統計 2011年

概況品名	単位	世界合計		中東欧・ロシアなど合計		日本への総輸入に占める割合	
		累計数量	累計金額 (単位：1000円)	累計数量	累計金額 (単位：1000円)	数量 ベース	金額 ベース
(003 肉類及び同調製品)合計	MT	2,535,947	1,067,205,812	33,452	18,798,742	1.3%	1.8%
(005 酪農品及び鳥卵)合計	MT	341,153	122,228,586	1,215	142,882	0.4%	0.1%
(00701 魚介類(生鮮・冷凍))合計	KG	1,858,992,437	1,079,693,421	162,106	114,760,970	0.0%	10.6%
(009 穀物及び同調製品)合計	MT	26,216,228	885,026,602	92,145	2,501,074	0.4%	0.3%
(01101 果実)合計	KG	2,703,687,427	375,590,205	1,084,920	585,945	0.0%	0.2%
(01103 野菜)合計	KG	2,919,847,133	395,121,918	5,297,570	2,312,749	0.2%	0.6%
(013 糖類及び同調製品・はちみつ)合計	MT	1,838,677	132,907,616	1,702	827,429	0.1%	0.6%
(015 コーヒー・茶・ココア・香辛料類)合計	MT	845,075	303,707,921	2,050	966,025	0.2%	0.3%
(019 その他の調製食料品)合計			148,427,866	0	78,867		0.1%
(101 飲料)合計	KL	1,502,515	240,316,804	2,038	508,026	0.1%	0.2%

財務省貿易統計より